

よいことの Weekly Report ために 手を取りあおう



創 立 1969 年 4 月 14 日
承 認 1969 年 4 月 23 日
チャーターナイト 1969 年 11 月 9 日
発 行 I T・広報委員会

会長：鈴木雅博 / 幹事：堀井実 / 副会長：遠藤直樹 / 会長エレクト：藤田俊和 / 副幹事：岡田和幸 / S.A.A: 松岡寛征

今週のプログラム	第 2651 回	12 月 5 日
客話：さぬき動物愛護センター（しっぽの森）次長 平田 愛 様		
担 当 者	プログラム委員会	例 会 場 J R ホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2650 回	11 月 21 日
会 計 について		
担 当 者	会 計	例 会 場 J R ホテルクレメント高松



鈴木会長挨拶

・皆さま、こんにちは。
本日ですけど議題にもある通り会計の現状と会費の値上げについて先日理事会内での議論等含めて堀井幹事より説明がございます。
皆さんご存じの通りクレメントさんも値上げということで現在の情勢から仕方がないことでもございます。そういうことを含めお聞きください。
それでは本日も最後までよろしくお願いします。

堀井幹事報告

回覧 ・2670地区から3月12日から3月15日の日程で開催されるRYLAセミナーの開催がありましたので、ご案内と資料の回覧を申し上げます。

出席報告	出席委員長：大西一正	
会 員 数 /	44 名	出席規準数 / 40 名
出席者数 /	22 名	欠 席 者 数 / 18 名
出席率 /	55.00%	ビ ジ タ ー / 0 名
最終出席率 /	11 月 7 日 67.99%	→ 76.74%

メイクアップ

11月20日 高松RC 磯崎 有友

ニコニコBOX

早退	1件
合 計 1 件	
本 日 の 合 計	500 円
2025-2026 年 度 累 計	292,500 円

12月誕生日の樹

9日 島 谷 隆 会員 セイヨウイワナンテン ‘レインボー’
22日 梶 原 一 正 会員 v
23日 木 内 泰 宏 会員 トウジバイ (冬至梅)



記 念 樹 - 記念日と誕生日365日の+1の樹 - 財団法人経済調査会発行より

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



12月5日 今日は何の日	今日生まれの有名人
イーブイの日/任天堂の日/カキフライの日	1955年 川中美幸 1976年 観月ありさ
1996年 厳島神社、原爆ドームが世界遺産に登録される	1954年 水沢アキ 1964年 岩井志麻子
2017年 羽生善治が、将棋界史上初永世七冠を達成	1953年 小林幸子 1958年 山田五郎
誕 生 花 「ポインセチア」花言葉は“祝福・聖夜・幸運を祈る”	
誕 生 石 「オレンジサファイア」宝石言葉は“陽の光・前向き・ひらめき・新たな出会い”	

我 等 の 生 業

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求るところは平和親睦
力るところは向上奉仕
おおロータリアン 我等の集い



疾病予防と治療月間

(Disease Prevention and Treatment Month)

2014年10月RI理事会は、12月を重点分野：「疾病予防と治療月間」とした。地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾病の蔓延を防止することを目的とした、地域住民への教育と地域動員、疾病またはケガによって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

公共イメージ向上委員会

2025.11.20 岩本達也

2025年2月に高松市道路課と協議し事故が多いとされた【桜町5号交差点歩道】に車止めを3本高松西RCから寄付しておりました。

設置当初はクラブ名のプレートがついていませんでしたが、現在は寄贈のプレートもついており、歩行者、特に通学中の子どもたちの安全のために暑い日も寒い日も雨でも風の日でも黙って文句も言わず、立ってくれています。

プレートを確認して、通行される方はいないと思いますが、人知れず高松西RCの寄付が安全に寄与しています。

車止めが壊れることなく立ち続けている事が事故が発生していない証拠になりますので、皆さん付近を通行するときは車止めの健在ぶりを、ご確認ください



公共イメージ向上委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構ですので投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。



感謝の気持ちを寄付で伝えよう

フランチェスコ・アレツツォ
2025-26年度 国際ロータリー(RI)会長

ロータリー財団月間を祝う11月は、寄付を行うだけでなく、寄付をする理由についても考えていただきたいと思います。財団は、単にプロジェクトに資金を提供しているだけではありません。財団は、信頼と友情に根差した奉仕が持続可能な変化をもたらすという私たちの約束を果たすための原動力です。

しかし、ポリオ根絶は数あるストーリーの一つに過ぎません。毎年、ロータリー平和センターは、対立を対話へ、分断を理解へと変える新世代のリーダーを育成しています。2023-24年度には、新たに約100人の平和フェローが研究を開始し、140カ国以上からの1,800人を超える平和構築者たちのレガシーを受け継いでいます。彼らに投資することは、今後何十年にもわたって実を結ぶ平和の種をまくことです。

財団はまた、地区補助金やグローバル補助金を通じて、大小さまざまなプロジェクトを支援し、人々の生活に変化をもたらしています。農村地域に安全な水を提供する井戸、若い専門家を育てるための奨学金、災害後の医療など、これらは一時的な対応ではなく、尊厳、レジリエンス、機会への一歩です。こうして、ロータリーの奉仕は持続可能なインパクトを持つようになります。また、自然災害に見舞われた際にも、ロータリーは災害救援補助金で迅速に対応することができます。

ロータリー財団にとって大切なのは、私たちが単独で何を達成できるかではなく、協力して何を達成できるかです。大小にかかわらず、全ての寄付が他の寄付と合わさって、人類と未来のための大きな力となっていきます。

どんな偉大な旅でも、一番大変なのは最後の1マイルです。私たちは、ポリオ根絶に向けた最後の一歩、平和のための活動、そして人々を絶望から救い出そうとするあらゆるプロジェクトにおいて、このことを実感しています。しかし、私たちが行う全ての寄付は、どんな困難があろうとロータリーの活動は継続していくという宣言なのです。

今月は、感謝の気持ち、喜び、希望を寄付という形で表しましょう。財団を通じて、私たちは「よいことのために手を取りあい」、その過程でプロジェクトだけでなく、平和、信頼、「超我の奉仕」というレガシーを残していくのです。

よいことの
ために
手を取りあおう



次週のプログラム

第2652回

12月12日

年次総会

担当者 会長・幹事・各委員長

例会場 J Rホテルクレメント高松

The Rotary Club of Takamatsu West